



# 藤岡第一中・藤岡第二中 統合準備会だより 第6号



令和4年3月18日 発行：藤岡第一中・藤岡第二中統合準備会

## いよいよ令和4年4月1日に、藤岡中学校が開校します！

### 1 これまでの流れ

※「藤岡第一中・藤岡第二中統合準備会」を統合準備会と表記します。

- 平成27年度
  - ・「栃木市立小中学校適正配置基本方針」を策定し、学校の適正規模の基準を決定した。
- 平成28年度
  - ・適正規模に満たない藤岡第二中の保護者と地域住民を対象に説明会を開催した。藤岡第二中と部屋小の保護者を対象に意識調査を実施した結果、「適正な規模にしていく必要性を感じる」86%、「統合したほうがよい」77%となった。
- 平成29年度
  - ・保護者の意識調査の結果を受けて、適正配置に関する地元の意見を集約するために、自治会長、保護者、各種団体や学校運営協議会の代表者15名で構成した「藤岡第二中学校地元代表協議会」を発足し、会議を3回開催した。
- 平成30年度
  - ・第4回会議を開催し、「藤岡第一中との統合を進める」合意形成を得た。
  - ・藤岡第二中学区保護者を対象に「藤岡第二中の今後の在り方について」の説明会を開催した。
  - ・藤岡第一中保護者を対象に「藤岡第一中・藤岡第二中の今後の在り方について」の説明会を開催した。
  - ・統合を円滑に推進するために、自治会長、保護者、各種団体や学校運営協議会の代表者22名で構成した「藤岡第一中・藤岡第二中統合準備会」を発足し、「統合準備会」と「部屋小保護者との協議」をそれぞれ2回開催した。
- 令和元年度
  - ・「統合準備会に係る検討部会」を開催し、学校指定品について検討した。
  - ・「第3回統合準備会」を開催し、学校指定品を決定した。
  - ・部屋小保護者を対象にした統合準備計画（工程表）についての説明会を開催した。
  - ・「第4回統合準備会」を開催し、校章・校歌の作成等について協議した。
  - ・栃木市議会において、「令和4年4月1日 藤岡中学校開校」が原案どおり可決された。
  - ・「臨時統合準備会」を開催し、今後の工程（作業を進めていく順序・期）について確認した。
- 令和2年度
  - ・「校章・校歌に係る検討部会」を開催し、校章デザイン案の絞り込みを行った。
  - ・「スクールバス運行に係る保護者説明会」を部屋小学校で開催し、質疑応答や保護者アンケートから貴重なご意見をいただき、コースや停留所を設定する上での参考とし、計画案を作成した。
  - ・「第5回統合準備会」を開催し、スクールバス経路等について協議した。
  - ・コロナ禍により、「第6回統合準備会」を「書面会議」として実施し、校章を決定した。
- 令和3年度
  - ・スクールバス運行経路の実地調査を複数回行い、運行経路を確定した。



### 2 閉校に寄せて（「閉校記念誌」より） 【藤岡第一中学校】

栃木市長 大川 秀子  
藤岡第一中学校は、開校以来63年間で、その歴史に幕を閉じることになりました。この間、素晴らしい教育実践のもと、立派な校風や伝統の確立に心血を注いでこられました学校関係者の皆様や地域の皆様の心情を想いますとき、哀惜の念いかばかりかと拝察申し上げます。本校は多くの優秀なる人材を輩出されると同時に、栃木市の発展のため尽力され、郷土を思う心の醸成にも貢献されてまいりました。心から感謝と敬意を表する次第でございます。結びに、これから開校されます「藤岡中学校」のご隆盛並びに藤岡地域のご繁栄を心から祈念いたしまして閉校の御挨拶といたします。

### 【藤岡第二中学校】

栃木市長 大川 秀子  
在校生や卒業生をはじめ、保護者の皆様、教職員の方々、なにより地域の皆様におかれましては、万感の想いでこの時をお迎えになられたことと拝察いたします。地域の皆様は、地域を担う子どもたちの将来を考え、適正な教育環境の実現に向けた苦渋の決断をされたことと思えます。改めて学校統合に御理解いただきましたことに対しまして、関係者の皆様に心から敬意を表します。令和の時代とともに、藤岡地域の中学校が一つになり、将来を担う子どもたちが明るく活力に満ち、心身ともに健全に育ちますよう願っております。地域の皆様には、統合中の新たな歴史を築き上げていただくよう、なお一層の御支援・御協力のほど、お願い申し上げます、御挨拶といたします。



栃木市教育長 青木 千津子  
昭和34年4月1日、藤岡・三鴨・赤麻の中学校が統合し、現在地に「藤岡第一中学校」として開校以来、地域の皆様とともに歩んできた藤岡第一中学校が、この度閉校することになりました。学校が閉校されても、この藤岡第一中学校は、いつまでも皆様の心の中に生き続けて行かれるものと信じてやみません。この学舎で培われた伝統は、卒業生や地域の皆様のそれぞれの胸に深く刻み込まれ、次代の子どもの心に受け継がれていくものと確信しております。これまで多大な御尽力を賜りました地元の皆様を始め、同窓生並びに本校にゆかりのある方々に心から感謝を申し上げます、御挨拶といたします。

栃木市教育長 青木 千津子  
地域の皆様にあふられてきた藤岡第二中学校の歴史が閉じてしまうことは、関係各位におかれましては言葉では言い表せないほどの寂しさを感じておられることと心中深く拝察いたします。しかし、閉校となりながらも、今日までの輝かしい歴史・培われた伝統は決して絶えることなく、いつまでも受け継がれていくものと確信しております。これまで藤岡第二中学校に多大なご支援とご協力を賜りました地域の皆様を始め、本校にゆかりのある多くの皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、卒業生並びに在校生の皆さんの新しい未来が、輝かしいものでありますことを心から祈念申し上げます、閉校に寄せる言葉といたします。

### 3 校歌が完成しました！

校歌『藤色の物語』が完成しました。来年度、この校歌を藤岡中学校全生徒が心を込めて歌います。今から待ち遠しいですね。楽しみにしててください。

この歌により、生徒の「ふるさと藤岡」を大切に想う心が育まれていくことでしょう。

ふじいろ ストーリー <b>藤岡中学校歌『藤色の物語』</b>	
やつ ひろゆき <b>作詞 八津 弘幸</b>	やぐち ひろやす <b>作曲 矢口 博康</b>
<b>1番</b> ここに集えたこと 当たり前じゃない かけがえない日々 絆という奇跡  誰もが皆同じ 形じゃないけど ありのままがいいんだ 歪に輝け  譲れない情熱 ときに尖って 傷つけあった痛みも 悔やんだ涙も  全部ラララ物語 さあ新しいページをめくろう  藤色の空の下 心は一つ 夢は無量大	<b>2番</b> 蓮花草揺れて しなやかに強く 三轟山 燃えて 揺るがない誇り  渡良瀬の水面に 君が投げた石(意志)は 大きな輪を広げて 世界を変えるだろう  無駄なものなんか 何一つない 履き潰した上履きも ノートの落書きも  全部ラララ物語 スポットライトが君を照らすよ  藤色の空の下 心は一つ 夢は無量大
	
<b>3番</b> 遠く離れても 忘れはしないよ 日向の教室 あなたの言葉  守りたいものと 変わってゆくもの 世界は急ぎ足で 答えは見つからず  もしも疲れた時は 立ち止まってもいい 帰る場所はここにある ただいま おかえり  藤色の空の下 心は一つ 夢は無量大 藤色の空を見上げて 希望の幕が上がる	



藤色の物語

Intro

Vocals



**八津弘幸先生のお話 (作詞者)**  
 このような光栄なお話を頂き、感無量の喜びを噛みしめております。校歌ということですが、学校以外にも、卒業した後も、カラオケでも(笑)、皆さんが歌いたくなるような、そんな歌詞を目指しました。矢口先生の素敵なメロディと共に、生徒たち、地元の皆さんに、未永く愛して頂けたらと思います。

**矢口博康先生のお話 (作曲者)**  
 開校おめでとうございます。母校の新しい校歌をつくることができとても光栄です。学校と同じように生まれたてです。藤岡中学校の生徒や先生方だけでなく、地域のみなさんにも歌いながら育ててもらい、そばに寄り添うような曲になったら嬉しいです。

お問い合わせ先：藤岡第一中・藤岡第二中統合準備会  
 ≪事務局≫ 栃木市教育委員会事務局 教育総務課 教育政策係  
 Tel 21-2467・2468 E-mail kyoumu02@city.tochigi.lg.jp